

## 2024 一華見て春を観る日や多摩の丘 2024年1月17日 6組 瀬戸章嗣

みなさん 明けましておめでとうございます。 遅まきながらのご挨拶を申し上げます。  
お互いに、今年が良い年でありますように祈ります。

お陰様で私は元旦からほぼ毎日、100分程度で近くの森林公園中心散歩を楽しんでいます  
が、

昨日は、選択コースの一つで、東名を跨ぐ橋を渡って、丘の民家道を歩いて下ると、麓の寺  
の掲示板に、月に2度目の言葉で、「一華（ゲ）を見て 春を観る」とありました。  
丘を歩きながら、個々の庭先に、水仙、葉キャベツ、椿の華を目にしたのは覚えていますが、  
寺の住職は、「世界平和の春を観ているのかな」と思って、首記の一句を詠みました。

というのは、毎年参列しているその寺の「初護摩焚き」で、今年は午後の部に出たのですが、  
終わりのあいさつで住職が触れた、今年年初の掲示板のことばが、

**「いつの日か 世界が一つに なればいい」** だったからです。

又、住職は、平和を願う参列者の気持ちに触れながら、「祈りは私たちを守ってくれると  
先人から教わって来ました。」と言いました。

ところで、年男の私の元旦の一句は次の通りです。

**ありがたや来たり七度目辰年初** …… 七度目年初にたどり着いた幸せに感謝する  
とともに、明日の保証はないものの、与えられた命を大切にしていきたいと思えます。  
そして、次の一句を詠みました。

**辰年初目指す八度目七度来て** …… 中学1年で肺門リンパ腺炎、30代で自然気胸、  
40代で気管支拡張、還暦での肺ガン疑い騒ぎは晴れたものの、気管支拡張症との付き合い  
で、以降毎月診察投薬を受けているという、長い肺症状を抱えながら、ここまで日常生活に  
支障なく、元気に過ごしてきたことは、真に有難いことだと思っているのですが、何か不具  
合があると、いら立ちは止めにして、何ができるかを思い、できることを無理せずに、積み  
重ねてきた事実が、いつの間にかある種の自信を与えてくれるようになっており、八度目が  
少し見えてきた気がして、既に承知済みやこれから見える障害物へ対応し、八度目を目標と  
して掲げることにしました。もっとも、死は、いつでも受け容れる心積りではいます。

**辰年初祈る十度目七度来て** …… 十度目の120歳は、まだ何も見えない状態ですが、  
昔恩師から教わった、< Where there is a will, there is a way > の確率は、高める  
ことができるという信念を持って、大きな自然に順応し、1つの世界の一員と心得て、身体

と心の養生を日々努めて、楽しい日々を目標に、今年を歩き始めたところです。 以上。